

大塚人

2003-37

福岡大学附属大濠高等学校同窓会会報

<発行所>

福岡大学附属 大濠高等学校同窓会
〒810-0044 福岡市中央区六本松1丁目1番2号
同窓会事務局 / TEL・FAX 092-714-1681
発行人 安藤文六
編集人 平島文憲
<印刷> 福博総合印刷株式会社

同窓会発足50周年記念

充実した同窓会を 50周年を記念して



大濠高等学校 同窓会会長

安藤 文六

同窓会の皆さんお元気でしょうか。同窓会も今年は、五十周年の節目の年を迎えます。五十周年を記念して本年の総会は、五十周年記念総会としました。五十周年記念総会にふさわしく、記念講演を企画致しました。この五十周年記念総会を成功裡に終わらせるためには、七百名を目標に参加者を集めたいと思っております。七百名の目標のために会員一人ひとりが力を出し合い、盛り上げていただきたいと思っております。そしてこの五十周年を新たな、百年に向けての門出といたしましょう。

次の百年に向けては、母校も大きな課題があります。社会は、急速な高齢化・少子化社会へと変化しております。このような社会になると、生徒数も減少してきます。同窓会もこのような現象に対して、学校とともに対応していきたいと考えます。そのためには、同窓会の充実が、より重要になってまいります。

最近、考えさせられることのひとつに、同窓生も増えて組織が大きくなっ

てきているが、組織が合理的に機能していないのではないかとということがあげられます。卒業のこと、クラスごとに幹事をもちかけていますが、皆さんは、仕事が多忙のため、理事会への参加が少なくなっているように思います。そこで幹事の層を厚くするために、クラスから複数の幹事を出してもいいのではないかと思います。クラス幹事の引受手が少ないのが現実だと思いますが、時間にゆとりのある方は、ぜひお願い致します。また、活動に対する会員の参加が少ないのも一つの特徴だと感じます。会員相互の親睦や交流を図るためにも行事に対する参加は、欠かせないものです。行事への参加を通して、深い人脈や豊かな情報が得られます。同窓会でもインターネットによる情報の提供を行っています。同窓会の行事に対するお知らせ、あるいは会員の消息を知るための情報、いろんな面で、パソコンを利

平成15年大学入試状況 東大四名 京大二名 九大医学部は二年連続

平成八年に開校になった中高一貫コースが卒業生を送り出して二回目にあたる今春の入試は、昨年に続いて、大濠高校の進学の実績に新たなページを加えた。昨年東大二名、京大四名の現役合格者を出したが、今年は東大に現役二名、浪人二名の計四名、京大二名は現役、九大医学部にも二年連続で現役合格者を出した。国公立大学の合格者は約百名。(この数字は九州の私立ではトップクラス)前出以外では、九大十八名、大阪大三名、東北大二名、横浜国立大三名、広島大五名、山口大六名、長崎大七名、熊本大五名、鹿児島大六名、佐賀大七名など。私大も含めた医歯薬系では、熊大医学部、長崎大医学部、防衛医大、自治医大、福岡大学医学部五名、東京医科歯科大、九州歯科大、九大薬学部、福岡大薬学部十三名など約四十名。

私立大学では早稲田大の四十名、慶應義塾大学の二十名はいずれも過去最高の合格者数である。また近年合格者を多く出している関西系の関西

用していただきたいと思います。

同窓会として、力を入れている事業に「特別会員」制度があります。この特別会員制とは、一口一万円を単位として、入会していただき、拠出していただいた会費を母校の文化部・運動部の生徒に対して援助しようという趣旨のものです。生徒には、心おきなく学校生活・クラブ活動に力をそそいでもらおうというものです。この「特別会員」制度の趣旨を会員に伝えますと、ぜひ入会しようという賛同していただける会員がたくさんおられます。ただ一つ改善しなければならぬ点があります。それは、会費を振込みに行く時間に皆さん追われていることです。この点をどのように改善すればよいか。会員の皆さまの知恵をぜひお貸し下さい。そして、ともに充実した同窓会を目指したいと思っております。五月の記念同窓会総会には皆さんお誘いあつてご参加下さい。

関学・同志社・立命の四大学にも百二十名とこちらも堅調であった。防衛大学は二次合格者が初めて百名を超え、二次合格者三十一名は昨年に続いて日本一の合格者数と思われる。また難関の気象大学校にも合格者を出した。

全体的に見ると、昔に比べ、福岡大学、西南学院大学の合格者数福大三百五十七名、西南六十名)が激減しているが、前記の他大学の合格者数をみると、それも頷ける。また九州大学にしても全国区に名乗りをあげた大濠にとっては、その合格者数が進学のパロメーターとは言い難くなっている。学園創立五十周年を経て、様々な教育改革が推進される、新たな産みの苦しみも味わった我が母校であるが、ここに来てその成果が一気に花を咲かせようとしている。同窓会創立五十周年にあたり、我々も母校のますますの発展を祈り、その動向に注目してゆきたい。

なお、この記事は国公立前期日程の合格発表時点での数字をもとに書いたものなので、後期合格者数を含んでおりません。更に合格者数を上乘せした数字を、五十周年記念の同窓会総会で御報告できるものと思っております。